

# 一時帰郷の情報発信レポート 2

## ◆宮城県

3年目の夏。地元、宮城に帰りました。私の地元は石巻だったので「川開き祭り」に行ってきました。川開きで打ち上げられた花火の場所が震災後に変更になり、以前は実家からは見えなかったのですが、見える様になり何とも感慨深いものがありました。

被害の少なかった所はキレイになり、震災などなかったかのように生活しているようですが、沿岸部はまだまだ放置状態が続いています。

草が生い茂り、取り壊しが終わっていない住宅が点々としていました。



2014年8月：宮城県石巻市大街道地区にある取り壊しの済んでいない住宅

ガレキの処理も終わったとは聞きますが、鉄クズ類などはまだまだ残っているようでした。



2014年8月：宮城県東松島市の海辺にある瓦礫

どうしてこんなに復興が遅いのか…。月日が経つにつれ忘れられていっているのを遠く離れた北海道に住んでいるからこそ、感じるのですが「ああそんな事もあったね」で終わらせない為にも、早急な復興を願います。神戸のルミナソエのような物が出来れば、と思う事もあります。

## ◆宮城県

2011年3月11日、私の愛する仙台市宮城野区ではマグニチュード8.8、震度7のこれまでにない地震が発生しました。それからまもなく私達が暮らす沿岸一帯を巨大津波が襲いました。家の前の道が水路となり想像を絶する巨大津波！これが現実でした。



2014年9月：宮城県仙台市宮城野区／この辺り一帯が津波被害に見舞われ、亡くなった方も…



2014年9月：宮城県仙台市宮城野区／仙台市立中野小学校跡地



2014年9月：宮城県仙台市宮城野区／1階部分が津波被害に遭った住宅



2014年9月：宮城県仙台市宮城野区

あれから3年半、中野小学校の跡地周辺は、津波で流され何も無い状態です。私が指している所で3人が渦に巻き込まれて死亡しています。ここでは、1階は津波の被害に遭ったので、2階で生活をしている人もいます。

防潮堤に関してはまだまだ先の事だと思います。あと何年かかるか…。最初は高さ10mとの話だったが現在は7m。でも私が見た感では、それ以下だと思います。

これからどのようになるか、私がいた仮設住宅にはまだ半分位の人がそこでの生活を余儀なくされています。国全体のスピード感が必要ではないでしょうか。

私も1～2年は黒津波、焦げた臭い、車の流されていく姿、そのような夢を毎日のよう

に見てうなされました。今になってようやく夢を見る事もなくなりました。

最後に思うのは、行方不明者を家族の元へ……。復興はいつ、そして夢を持てるようになるのは、何年先か……。

旭川に避難してからは被災地の話はするまいと思っていましたが、これからは後世に残す為、語り継いでいくのも必要不可欠かと思っております。

## ◆福島県

8月前半に、福島県いわき市へ一時帰郷支援を利用し、行かせていただきました。

あまり時間もなかったため、地震・津波被害の復興状況など詳しく見て回ることは出来ませんでしたが、知人や友人から話を聞き、色々な問題があることが分かりました。

結婚したばかりの友人に話を聞くと、いわき市内では賃貸住宅の空きがなく、自分たちの生活レベルに合わない賃料の高いところにしか入居できなかったとのこと。

土地を買うにも値段が上がってしまい、家を建てるにも業者さんの予定が1～2年は待たねばならないそうです。

決して避難されて来た方達が悪いわけではないのですが、実際にこういった問題が起きていて、もともと地元にいる方のやり場のない気持ちが、結果として避難者に向いてしまっている悲しい現状が見えました。

もしかしたら、自分たちも北海道で同じように見えてしまっているのではないかと考えると、胸が痛くなってしまいました。

ご支援、ありがとうございました。